

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第5部門第3区分
 【発行日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【公開番号】特開2001-296045(P2001-296045A)

【公開日】平成13年10月26日(2001.10.26)

【出願番号】特願2000-109736(P2000-109736)

【国際特許分類】

F 2 4 F	7/06	(2006.01)
E 0 4 B	1/70	(2006.01)
E 0 4 B	1/74	(2006.01)

【F I】

F 2 4 F	7/06	1 0 1 Z
E 0 4 B	1/70	B
E 0 4 B	1/74	P

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月15日(2007.3.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

建築物の屋外の空気と屋内の空気を強制的に換気する断熱・気密型換気装置であって、ダクト配管本体と、前記ダクト配管本体の内部に配置された開閉ダンパーと、前記開閉ダンパーを駆動する駆動装置とを備えたシャッターユニットと、

前記シャッターユニットのダクト配管本体端部に接続されるダクトファンユニットであって、ファンを内蔵したファン箱本体と、前記ファン箱本体の吸気側開口部に設けられた吸気側ダクト接続部と、前記ファン箱本体の排気側開口部に設けられた排気側ダクト接続部とを備えたダクトファンユニットと、

前記シャッターユニットとダクトファンユニットを接続する接続ダクトと、を備えたことを特徴とする断熱・気密型換気装置。

【請求項2】

前記シャッターユニットの開閉ダンパーの少なくとも片面に、断熱材層が形成されることを特徴とする請求項1に記載の断熱・気密型換気装置。

【請求項3】

前記シャッターユニットの開閉ダンパーが取り付けられる開口部と開閉ダンパーの少なくともいずれか一方には、開口部の周囲に沿って気密性部材が設けられていることを特徴とする請求項1から2のいずれかに記載の断熱・気密型換気装置。

【請求項4】

前記シャッターユニットの外壁が、断熱材で囲繞されていることを特徴とする請求項1から3のいずれかに記載の断熱・気密型換気装置。